

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	水防事業				担当課名	建設水道課
					担当係名	建設管理係
(予算書コード)	08-03-02-10-01					
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営			
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	水防法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	水防協議会を運営し、水防法及び長野県水防計画に沿って下諏訪町水防計画の見直しを行う。消防団、地区自主防災会等関係機関と連携し、現況にあった必要な資機材を整備する。令和5年度は水防訓練を実施し、水防工法や災害トイレ設営などの訓練で万が一の災害に備える。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	水防訓練の実施	水防訓練参加人数	人	目 標	220	220
				実 績	140	215
				達成率	63.6%	97.7%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		41 千円		44 千円		61 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		0.10 人	657 千円	0.10 人	675 千円	0.10 人	691 千円
事業費合計 C (A+B)			698 千円		719 千円		752 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			698 千円		719 千円		752 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	A 法律で義務 付けられて いる	水防法で定められた水防管理団体である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	水防計画に基づき、水害が予想される危険箇所の事前調査や出水時の警戒や防御を行い、全町の被害軽減を図っている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	水防協議会を開催し適切に水防計画の見直しを行っている。近年の災害状況を見ながら水防訓練を企画、開催していきたい。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下 である	コロナ禍明けで通常規模での開催となった。事業の活動成果を上げるには、若い世代の参加が必要である。まずは、若い世代に防災の興味・関心を持っていただけるよう周知したい。

総合評価	現状維持	近年各地でみられる局地的な豪雨に対処するため、日ごろから水害や土砂災害に対する意識を持ち、水害の未然防止、軽減を図るため、関係団体の皆様と一層の連携を図り、対策に取り組みたい。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	交通安全対策				担当課名	建設水道課	
					担当係名	建設管理係	
(予算書コード)	08-01-02-05-01・10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	道路法						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	歩行者等が交通事故に遭わない、事故のない安全で快適な交通社会の実現のため、交通安全施設の整備及び啓発活動を行う。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	町内の交通事故件数	同左	件	目 標	60	55
				実 績	38	32
				達成率	157.9%	171.9%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
事業費	事業費 A		7,317 千円			6,331 千円			7,797 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		1.00 人	6,569 千円	1.00 人	6,749 千円	1.00 人	6,905 千円			
事業費合計 C (A+B)			13,886 千円			13,080 千円			14,702 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		31 千円		386 千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		千円				
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円				
	一般財源（町の負担）		13,886 千円		13,049 千円		14,316 千円				
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %				

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 区要望、通学路の合同点検、巡回パトロール等により、危険箇所を把握し、必要な箇所に対し整備を行っている。
公平性	A	適切である 区や学校関係者の要望を踏まえ、通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
効率性	A	適切である 通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
達成度	A	目標値以上である 町内の交通事故件数は目標値下であり減少傾向にある。関係機関、団体と連携し、街頭啓発活動の実施、また、危険性の高い箇所へ交通安全施設整備を行い成果が表れている。

総合評価	現状維持	通学路を中心に、危険性の箇所への交通安全施設整備を行った。また、関係機関、団体等と連携し街頭啓発活動を実施し、交通安全事故防止の推進を図った。 また、R6年1月より自転車乗車時のヘルメット着用の促進を図るため、ヘルメットの購入に要する経費の一部を補助金として交付している。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	町道の維持管理				担当課名	建設水道課	
					担当係名	建設管理係	
(予算書コード)	08-01-01-05-01、08-02-01-05-01、08-02-02-10-01、08-02-03-10-01・12-01、08-02-04-10-01、08-02-05-12-01、08-02-06-10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助		
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	道路法						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、計画的に道路、橋りょう維持補修工事を行う。冬期間は安全でスムーズな交通を確保するため、幹線道路の凍結防止剤の散布、除雪を行う。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	道路維持補修工事実施路線数	同左	路線数	目 標	11	8	9
				実 績	14	13	
				達成率	127.3%	162.5%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
事業費	事業費 A		359,853 千円			390,093 千円			462,469 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		5.00 人	32,844 千円	5.00 人	33,743 千円	5.00 人	34,527 千円			
事業費合計 C (A+B)			392,697 千円			423,836 千円			496,996 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	53,946 千円			35,825 千円			142,370 千円		
		県の負担	千円			千円			千円		
		町の借入	225,300 千円			241,600 千円			240,100 千円		
		その他	17,672 千円			58,810 千円			60,885 千円		
		うち 使用料・手数料 D	千円			千円			千円		
	一般財源（町の負担）		95,779 千円			87,601 千円			53,641 千円		
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、町道の道路管理者である町において、維持補修、改良工事を行い、機能維持、利便性の向上を図る。また、橋りょうの健全性の確保を図る。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	年次計画を基に道路維持補修工事を実施。区からの要望等により、傷んだ箇所を局所的に補修工事を実施。橋りょう長寿命化修繕計画を基に、計画的に橋りょうの維持補修工事を進めており公平性が保たれている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	年次計画を基に進められており、計画以外の箇所については、緊急性や重要性等を勘案し進める。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上である	年次計画で進めており、概ね計画通りに進んでいる。

総合評価	現状維持	道路維持補修工事は概ね計画通り実施した。区からの要望箇所については、局所的に補修工事を実施した。橋りょう関係では、橋りょう長寿命化修繕計画を基に、補修・点検を計画的に実施し、橋りょうの健全性を確保した。R5年11月より運用を開始した通報システムを活用したことにより、危険度の判断など事前に把握ができることから、より迅速な維持管理が可能となった。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	